

高知県の観光振興

四国の太平洋側に位置する高知県は、東西に長い地形を持ち、県内各地で多様な歴史と文化が育まれています。特に幕末・維新の時代には、「坂本龍馬」、「岩崎弥太郎」、「中岡慎太郎」など多くの偉人を輩出し、近代日本の立ち上げの大きな原動力となりました。また、観光面では旅行雑誌の「食」部門で毎年上位にランキングされており、海・山・川の恵みである新鮮な食材を使い、県内の多様な文化でアレンジされた郷土の食は、訪れた観光客の皆様に喜ばれています。

さて、平成22年のNHK大河ドラマが「龍馬伝」に決定し、郷土の生んだ英雄「坂本龍馬」が42年ぶりに取り上げられることになりました。今回は、幕末から明治にかけて活躍した屈指の経済人で三菱財閥の創始者「岩崎弥太郎」の目線から描くドラマということで、高知県が全国から注目されるものと大いに期待をしています。

高知県では、県内各地域ならではの「食」、「文化」、「伝統」などを体験していただく「花・人・土佐であい博」を平成19年3月から20年2月1日まで開催しました。

これは「土佐がまるごとパビリオン」をキャッチフレーズに、県内各地の自然・文化などを活かしたさまざまな地域イベントが連動し、高知を丸ごと体感していただくというもので、地域の活



動団体がそれぞれに趣向を凝らしたメニューでお客様をお迎えしました。3月から11月までの9ヵ月間に、県外から16万人を超える観光客の皆様に訪れていただき、高知県民の「おもてなし」の心に触れていただきました。



「よさこい祭り」(8月9日～12日) 街中は祭り一色となります。今や「よさこい」は全国区ですが、高知が本場。今年で56回目を迎えます。

高知県知事 **お ぎ き ま さ なお**
尾 崎 正 直



「龍馬伝」の放送にあわせて、開催する「土佐・龍馬であい博」においても、「花・人・土佐であい博」で築かれた地域の取り組みをさらに磨き上げ、全国の皆さんに高知県民のおもてなしや、高知でなければ体験できないイベント、幕末の志士を育んだ歴史と文化、豊かな自然を体験していただくことで、一人でも多くの方に高知のファン・応援団になっていただきたいと思っています。

例えば、歴史や文化といった視点では、高知市内に数多くある幕末・維新時代の人物ゆかりの地と、藩政時代から続く「日曜市」などを組み合わせることで、地元の食材などを地域の人と触れ合いながら買い求めているといた「まち歩き」観光が楽しんでいただけます。

また、高知市以外の地域でも、山間部に残る平



皿鉢料理

家伝説や、土佐日記で知られる紀貫之、四万十川で有名な四万十市中村には、朝廷の要職も出した土佐一条家などがあり、それらの歴史が地域のお祭りなどに形を残しています。そうした本県の歴史と、県内各地域の体験型イベントを組み合わせ楽しんでいただくことで、高知県の持つ懐の深さをご理解いただけることと思います。

さらに自然を活かすといった視点では、先だって、県東部の室戸市が日本ジオパーク（地質遺産を含む自然公園）に選定され、これを契機にグリーンツーリズム、ブルーツーリズムなど、いわゆるニューツーリズムに「ジオツーリズム」が加わって、新しい切り口からの観光振興も進めています。

このように新鮮な食材を使ったバリエーションに富んだ郷土料理、歴史に裏打ちされた観光資源や、地域の豊かな文化や自然を体験・体感していただくための取り組み、新しく加わった資源など、高知県には幅広い層の方に楽しんでいただけるものが数多くあります。こうした資源を持つ本県を、「龍馬伝」を契機に幅広く情報発信することで、皆様に高知の良さを知っていただき、訪れていただきたいと思っています。

皆様を土佐流の「おもてなし」でお待ちしていますので、是非「龍馬のふるさと高知」へお越しください。